

第 136 回 国立大学法人新潟大学経営協議会 議事概要

- 1 日 時** 令和 6 年 11 月 19 日（火） 12 時 58 分～14 時 41 分
- 2 場 所** 新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A（Zoom 会議併用）
- 3 出席者** 構成員 15 名：
牛木学長，川端委員，坂本委員，澤村委員，末吉委員，染矢委員，堀江委員，伊藤委員，岩田委員，小田委員，片峰委員，佐久間委員，三輪委員，森委員，（欠席：福田委員）
オブザーバー：
塚本理事，富田特命理事，岡監事，赤塚監事

4 議事概要について

第 135 回（令和 6 年 9 月 24 日）の議事概要が確認された。

5 審議事項**（1）就業規則の一部改正について**

就業規則の一部改正について，資料 1 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

〔主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言〕
なし

6 報告事項**（1）令和 6 年度収入支出決算の見通しについて****（2）第 4 期中期財務推計について**

與三野財務部長から，令和 6 年度収入支出決算の見通しについて資料 2 に基づき，第 4 期中期財務推計について資料 3-1 及び資料 3-2 に基づき報告があった。

〔主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言〕

○：

・資料 3-2 収入額の推移の「間接経費」に民間からの共同研究や科研費等の外部資金が含まれているか。また，間接経費とする割合はどの程度か。

■：

・割合は経費ごとに異なるが主に 2 割から 3 割程度であり，科研費を含むあらゆる外部資金の間接経費を計上している。

○：

・今後間接経費の収入が伸び悩むという推計であるが，外部資金は重要な収入源であるので，収入増となるよう対策していただきたい。

■：

・財務の立場として作成した資料であり，厳しめに示している。

■ :

・間接経費の割合について、科研費は現在3割であるが、民間のものは現在2割であるものを来年春から3割に引き上げる予定で、これにより間接経費の増加を目指すとともに、今後更に産学連携の強化も図っていききたい。

○ :

・資料2の3頁目「外部資金セグメント」で、寄附金の増額の主な要因に「佐渡自然共生科学センター寄附研究部門の開設による受入増等」と記載されているが、これは特定の機関からの寄附によるものか。

■ :

・上廣倫理財団からの寄附金である。同センターの里山共生研究に関する寄附講座を提供いただいております、特任教員の人件費等も含まれている。

○ :

・大学セグメントではR7~9年度で8~12億円の赤字となり、一方、病院セグメントではその反対の形で黒字という風に見える。大学としては帳尻が合っているというように理解してよいのか。

■ :

・大学セグメントと病院セグメントは独立している。病院の方で残っているように見えているのは機器更新等のためにこのような記載方法をとっているものである。本学では病院の黒字を大学に移すというような運用は行っていない。

○ :

・同一法人内のことであり、大学セグメントと病院セグメントを合わせた会計をしないのか。

■ :

・あくまでもこの資料は推計について示したものであり、実際の予算編成においては赤字の予算は編成できない。よって、決算としては大学セグメントはプラスマイナスゼロを目指していき、病院セグメントはプラスの形になるものである。一部の他大学では、病院の利益を大学に還元しているところもあるが、本学では予算編成時にはそういった運用は行っていない。運営費交付金や学生納付金といった収入の範囲内で予算を組むことを基本としているのが現状である。

■ :

・病院では借入金（返済）もあり、機器購入なども何とか調整しながら均衡を保っている状態である。他の国立大学病院では赤字状態のところも多い。

○ :

・資料2の令和6年度の決算見通しでは外部資金の規模が明確にわかるが、資料3-1及び資料3-2の中期推計では分かりにくい資料の作りとなっているため、外部資金の増加計画について伺いたい。外部資金は重要な収入源であるため、今後は中期推計においてもそれが分かるよう資料を作成してほしい。

■ :

・外部資金は国の制度や取得状況により変動するため推計が難しい。大学として外部資金をどれだけ獲得するという将来目標や計画が立てられれば、それらを反映する等の方法を今後検討していききたい。

■：

・大学セグメント・病院セグメントとは別に、科研費や受託研究費をどれ位増やしたいという形の指標・目標は示せると思うので、それを資料に反映する等、今後より分かりやすい形で示したいと思う。

○：

・研究費はネットではなくグロスの数字で収入と支出を明確にし制度会計に反映させるべきだと思う。

■：

・今後検討していきたい。

(3) 令和6年度資金運用状況（上半期分）について

(4) 令和7年度医学部医学科の入学定員について

(5) 令和5年度中期目標・中期計画等の進捗に関する自己点検・評価報告書の訂正について

報告事項（3）から（5）については、口頭による説明は省略し、委員において資料4，資料5，及び資料6を確認した。

[主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言]

なし

7 意見交換

(1) 地域創生の組織的な推進

—内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業（R6年度～）」の活用—

川端理事から、地域創生の組織的な推進—内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業（R6年度～）」の活用—について、参考資料1に基づき説明があり、委員において意見交換がされた。